

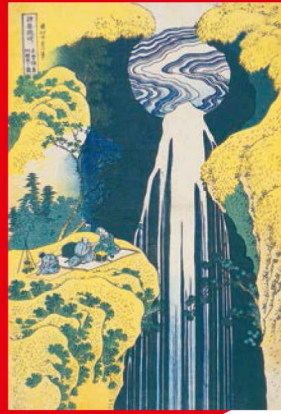
日本とイギリス展

JAPAN and GREAT BRITAIN
大英博物館出陳記念

— 北斎の浪と水の流れ —



葛飾北斎「諸国名橋奇覧 かもめど天神たいこぼし」
北斎館蔵



葛飾北斎「諸国瀧廻り 本管路ノ奥阿弥陀ヶ滝」
北斎館蔵

このたび、イギリス・ロンドンの大英博物館において、本年5月25日より特別展「Hokusai: beyond the Great Wave」(邦訳「北斎―大波の彼方―」)が開催されることになりました。大英博物館の特別展では、晩年の葛飾北斎にスポットを当て、彼の最も輝かしい時期の肉筆画を中心に展示します。当館からは、晩年の北斎ゆかりの小布施町にとって、貴重な作品である北斎作の上町祭屋台天井絵「男浪図」「女浪図」をはじめ、所蔵作品13点を大英博物館へ出陳することになりました。今回それを記念して、特別展「日本とイギリス―北斎の浪と水の流れ―」を開催いたします。

北斎の活躍した18世紀中頃から19世紀中頃の日本は、徳川幕府のもとで260年もの間平和な世の中が続いていました。一方、イギリスは、産業革命により「世界の工場」として経済が大きく発展しました。アフリカやアジア、インドへと市場を求めて進出し、ヴィクトリア女王の時代には、大英帝国の繁栄を築き上げました。

当時の日本では、北斎が七十代で代表作「富嶽三十六景」を完成させ、また、「諸国瀧廻り」「諸国名橋奇覧」などの大判錦絵を次々と発表し、風景版画のジャンルを確立させました。イギリスでは、ターナーやコンスタブルなどの風景画家が、穏やかな田園風景や起伏に富んだ地形、大地を流れる美しい川、そして霧などのイギリス特有の気候を、水彩画や油彩画などで盛んに表現しました。

今回は、日本の葛飾北斎の作品、そして、イギリスの風景画家たちの作品の複製パネルを「浪と水の流れ」をテーマに紹介します。



ターナー「解体のため最後の停泊地へ曳かれて行く戦艦テメルール号」
ナショナル・ギャラリー蔵
©The National Gallery, London/distributed by AMF-DNPartcom



ターナー「コンウェイ城」
マンチェスター大学ウィットワース美術館蔵
Photo: Bridgeman Images/DNPartcom



ターナー「ヴィクトリー号の右舷から見たトラファルガーの海戦」
テート・ブリテン蔵
©Tate, London, 2016/DNPartcom

北斎館ご案内

■開館時間

午前9時～午後5時
(ご入館は午後4時30分まで)

■駐車場

北斎館駐車場(北斎館に隣接)
大型車 2,000円
中型車 1,500円
普通車 400円

■アクセス

●電車をご利用の場合

JR長野駅「善光寺口」から長野電鉄特急約20分、普通約30分、小布施駅下車徒歩12分

●車でお越しの場合

国道18号線「豊野」信号から約10分、上信越自動車道「小布施PAスマートインター」(ETC車専用)から約8分、「須坂長野野インター」から約20分、「信州中野インター」から約15分



信州小布施 北斎館

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485
TEL.026-247-5206 FAX.026-247-6188

